

えりもしゃくなげ



教育委員会だより 発行者 教育長 川上松美

未来を担うえりもの子が「えりもだけ、えりもならでは、小中高継続で学ぶことなど」を「未来えりも学」と名付けます。

「百人浜に学ぶ」～植樹、苗木、剪定～
小学校5校→えりも中→えりも高

これまで、東洋小とえりも岬小児童が春の「えりもワクワク森林づくり体験事業植樹祭」（えりも岬の緑を守る会）に参加していました。本年度からは、笛舞小とえりも小、庶野小の児童も参加し、町内の全小学校5校81名が森づくり体験を行いました。

この学習を通し、先人の苦労や豊かな漁場の訳を知るなど、小、中、高生が継続して学ぶ、この活動も「未来えりも学」の一つです。



追分峠を過ぎた小高い丘で 2017/05/21 10:39
地域の方々と一緒に植樹



町民と一緒に植樹

考える力と読書

今、一丸となって取り組んでいます。

読書は、考える力を育む基盤となります。
今年度は、学校と教育委員会も力を入れていきます

笛舞小では

毎週、国語、算数、読書の朝学習をしています。特に、木曜日には全校読書を行っています。その成果がみんなの前で工夫して発表できる力として身に付いています。



図書室
で楽し
く読書

えりも小では

毎日、8時15分から8時30分までの15分間、各学級で国語や算数の朝学習を行っています。金曜日は読書指導の日としています。



担任の先生が1年生に読
み聞かせをしています

東洋小では

「朝読書の継続と読書週間の工夫」を掲げ、毎日、20分間、火・木曜日は読書、月曜日は漢字、水曜日は算数文章題、金曜日は読解の学習を1年間を通して続けています。



学年ごとに
じっくり読書

えりも岬小では

毎朝、10分間の朝学習を行っています。また、帰りの会には読書タイムを設けています。巡回文庫も毎月1回利用し読書に親しむようになっています。



楽しく読書に親しむ

庶野小では

毎週、水曜日には算数、金曜日には読書を行っています。児童会読み聞かせも行っています。



文化委員会で読み聞かせをしています。

町図書室では

新しい図書を紹介し、児童生徒の読書活動の推進を図っています。平成29年5月現在、図書の蔵書は26500冊で、その内、児童書は9889冊です。今年度は、新刊図書として500冊程度、その内、児童書を250冊購入します。1万冊を超えます。

今年の新刊は、児童書250冊を予定しています。ご期待を



たくさんの皆さんの入館をお待ちしています。

○読書の大切さは、これまでも叫ばれていますが、最近では、テレビやインターネットをとおして情報を得るなど、じっくりと本を読んで考える機会が少なくなっています。

特に、えりも町の学力・学習状況調査では、読書時間の少ないことや、自分の考えを發表したり、書いたりする表現力が十分身に付いていないことが分かっています。読書は、考える力を育てる素地となるものと言えます。

学校巡回文庫で4小学校が読書に親しむ



教育委員会では、えりも小学校を除く4小学校に一月に1回程度、ワゴン車で学校を回り、児童書を提供しています。児童は、15分休みなどを利用して本を借りたり、リクエストして次回に持ってきてもらっています。また、地域の方々の要望にも応じています。

～トピックス～

庶野小でユニークな工夫された廊下掲示

保健室前の廊下には、養護の先生が工夫し、庶野小桜神社「けんこう おみくじ」の表札を作り、児童一人一人の健康や学校生活の頑張りを応援しています。

ハッピーな順「①ミラクルデー②大吉③中吉④小吉⑤吉⑥末吉⑦凶」の棒おみくじが置いてあります。児童は、おみくじを引いて一日の生活を幸せに過ごそうと楽しんでいます。



養護の先生のユニークな大作です

2017/06/17 11:32